

発刊にあたって



石川県は、本州中央部の日本海側に位置し、北部には日本海に突き出た能登半島の長く複雑な海岸線、南東部には高山帯を持つ白山を擁するなど、その自然と四季は変化に富んでいます。

この豊かな自然の中で、日本の生物相の縮図と言えるほどの多種多様な野生生物が生息しており、私たちもこの自然から多大な恩恵を受けて生きています。

本県では、「ふるさと石川の環境を守り育てる条例」により、絶滅のおそれのある野生生物のうち、保護の必要があるものを希少野生動植物種に指定し、捕獲や採取などを規制するとともに、そのうち、特に絶滅の危険性が高く、緊急に保護対策が必要な種については、生息・生育地の環境調査や再生回復などの保護増殖事業にも取り組んでいます。

また、本県にゆかりが深く、国の特別天然記念物となっているトキやライチョウについても、国が進める保護増殖の取り組みに積極的に協力しています。

しかしながら、近年の地球温暖化による環境の変化や、過疎化や高齢化に伴う里山の手入れ不足による荒廃などにより、今後は希少な生物だけではなく、これまで身近にあった草花や小動物も、絶滅リスクが増加する可能性が高いと予測されています。

このような背景のもと、県では、本県の環境を取り巻く状況の変化や、国の第五次環境基本計画などの諸計画を踏まえ、環境施策の拠り所となる「石川県環境総合計画」を改定し、引き続き種の保存の推進に取り組むこととしています。

こうした中、本県で絶滅のおそれのある野生生物をとりまとめた「いしかわレッドデータブック」は、前回の発行から11年が経過し、野生生物の現状を的確に把握していく必要があることから、今般、「いしかわレッドデータブック2020〈動物編〉」を発行することといたしました。

本書を、野生生物の保全をはじめ生物多様性の確保に向けた取り組みを進めるため、また、郷土の自然に対する認識を深めていただくための資料として、広くご活用いただければ幸いです。

最後に、本書の発行にあたり、ご尽力いただきました「いしかわレッドデータブック策定委員会」の皆様や、調査・執筆にあたられました「石川県野生動物保護対策調査会」の皆様をはじめ、ご協力をいただいた関係各位に対し心から感謝の意を表します。

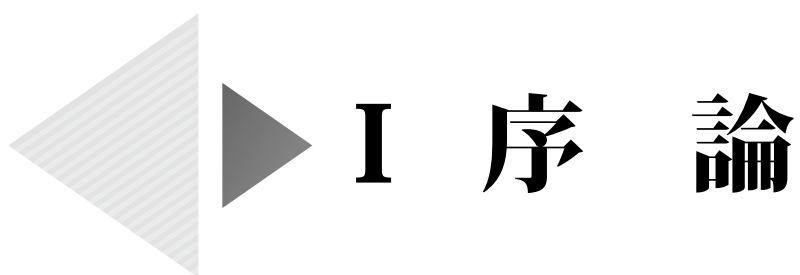
令和2年3月

石川県知事 谷本 正憲

目次

発刊にあたって

I 序論	1
1. はじめに.....	2
2. 改訂の概要.....	4
3. レッドデータブックの記載内容.....	8
4. 選定結果.....	9
5. レッドリスト.....	11
II 各論	23
1. 哺乳類.....	24
2. 鳥類.....	40
3. 両生爬虫類.....	83
4. 淡水魚類.....	92
5. 昆虫類.....	104
6. 浅海域の生物.....	254
7. 貝類.....	280
8. その他の動物.....	319
索引.....	329
「いしかわレッドデータブック策定委員会」名簿.....	336
「石川県野生動物保護対策調査会」名簿.....	337



I 序 論

1. はじめに

●いしかわレッドデータブックとは

生物多様性は、長い地球史のなかで進化したものであり、かけがえがなく貴重です。私たちの生活は、生物多様性が産み出す「生態系サービス」（衣食住、気候の安定、文化等）により支えられています。いま、地球全体でも日本でも、野生生物の絶滅が加速しており、脅威にさらされた種の保全は緊急課題です。

石川県には、国連食糧農業機関（FAO）の世界農業遺産「能登の里山里海」とユネスコ（UNESCO）の生物圏保全地域「白山エコパーク」に代表されるすぐれた自然環境と伝統文化が息づいており、豊かな生物多様性に恵まれています。しかし、近年、人間活動や開発行為による生息地の破壊、無秩序な捕獲・採取（生物多様性の第1の危機。環境省・生物多様性国家戦略）、里山と里海では、過疎・高齢化の進行による管理不足（第2の危機）、外来種や農薬等の化学物質の影響（第3の危機）、さらに地球温暖化（第4の危機）がこれらと絡まり、事態を深刻化させています。石川県の7割を占める里山と能登・加賀沿岸の里海では、過疎・高齢化が深刻です。同時に大型野生獣（イノシシ、ニホンジカ等）と外来種（アライグマ、オオクチバス等）の激増、分布拡大が、生態系と在来種に強い脅威をおよぼしています。

野生生物の生息状況は、同じ種でも地域ごとに異なっているため、環境省の全国版レッドデータブック（以下、RDB）だけでなく、いろいろなレベルの地域版RDBが必要です。「いしかわレッドデータブック」は、石川県内に分布する野生生物のうち、絶滅のおそれのある種（以下、絶滅危惧種）ごとに現状（個体数、分布、生息環境、生活史、生態等）をとりまとめ、絶滅の危険の大きさをランクづけ（カテゴリーと呼ぶ）した県内の生物多様性の基礎資料であり、すでに絶滅した種、いま絶滅のおそれがある種、絶滅の原因や保護の方法等が、種の解説とともに述べられています。

●第3版の作成について

野生生物の生息状況は時とともに変化するため、RDBは定期的に見直しが必要です。石川県では、県版RDBの作成を平成9年（1997）に開始し、平成12年（2000）に、「石川県の絶滅のおそれのある野生生物 いしかわレッドデータブック 2000〈動物編、植物編〉」2冊を刊行しました（以下では動物編について述べます）。第2版「いしかわレッドデータブック2009〈動物編〉」を平成21年（2009）に発行し、今回、第3版「石川県の絶滅のおそれのある野生生物 いしかわレッドデータブック2020〈動物編〉」をまとめました。

平成27年（2015）に、第3版刊行にむけて各分類群の専門家からなる「いしかわレッドデータブック策定委員会」（10名）が組織され、県内の研究者（大学、石川県の研究機関、民間企業等）と自然愛好家ら50余名の協力を得て、既存の情報と標本の検討、必要な場合は現地調査をおこない、データ集計、評価、掲載種の選定等を開始しました。本書には、上記の方々の方々の尽力だけではなく、長年県内に蓄積されていたデータが活かされています。

●石川県における絶滅危惧種の推移と自然環境の変化

この第3版には、合計474種（地域個体群を含めると501種）の絶滅のおそれのある動物種が掲載されており、第2版より122種（同123種）増えました。絶滅種であったニホンライチョウが白山で再発見され、野生放鳥されたトキとコウノトリが飛来し、絶滅危惧種Ⅰ類として掲載されたことは「朗報」です。しかし、県内で記録のある哺乳類（種総数56）の41.4%、鳥類（456）の16.4%、両生爬虫類（40）の20.0%はRDB掲載種です。この比率は、初版（2000）から第2版（2009）をへて第3版まで上昇しており、カテゴリーがランクアップした種が、ランクダウンした種よりも多かったことは、全体として県内の野生生物の絶滅リスクが高まっていることを示しています。

動物は多様な分類群に分かれ、土中、水中、樹冠等にも分布し、微小なものも多いので十分に調査できておらず総種数はいまま不明です。たとえば、石川県内の昆虫類を2000年と2020年について比較すると、記録された種の総数（うちRDB掲載種、比率）は、約7,900（92、1.2%）と約9,200（265、2.9%）であり、20年間の調査により約1,300種（うち173がRDB掲載種）が追加されました。昆虫には、いまま未記録種が多数あり、さらに調査が必要です（詳細は昆虫の章を参照）。

●レッドデータブック情報の活用

いしかわRDBは、絶滅のおそれのある野生生物の状況を取りまとめ、絶滅のおそれ（カテゴリー）を評価した資料です。ある地点に絶滅危惧種が分布するからといって、それが直ちに環境改変の規制につながるわけではありません。しかし、開発や環境改変行為には、規模、改変内容等により環境影響評価が義務づけられており、本書は地域の野生生物の生息状況を示す基礎資料として尊重されねばなりません。事業者は現地調査等を行ったうえで、RDB掲載種と生息環境への最善の配慮手段を講じる必要があります。

環境改変の妥当性の判断には、（1）影響を受けるRDB掲載種を含む生物多様性の重要性とその場所（地域）の県内及び国内における重要性、（2）改変によるRDB掲載種や環境へのダメージからの回復力と代替措置の評価も必要です。つまり様々なレベルの情報を勘案したうえで総合判断すべきですが、それは簡単ではありません。事業者は、慎重のうえにも慎重にRDB情報を読み込むだけでなく、RDB掲載種の生態や現場の状況を熟知したRDB関係者からも意見聴取すべきです。また、「開発・管理のための人間活動」と「RDB掲載種とその生息環境の保全」という対立する視点の調整、状況改善策の提案等のプロセスにおいて、多様な関係者（地域住民、行政、開発事業者、RDB作成関係者等）の協働による地域社会の意志決定の仕組みづくりが重要です。

事業による環境改変の開始後は、詳細なモニタリングを、改変地点だけでなく、周辺への影響を知るために十分な空間範囲にわたり長期間続けるべきです。

●第4版にむけて

関係者の尽力により本書が完成しました。10年後の第4版をめざすには、予算の増額、支援体制の充実はじめ多くの課題があります。

1. 体制の維持と強化

- （1）本書に含まれていない分類群（無脊椎動物等）の専門家はじめ、もっとマンパワーが必要です。委員、専門家が高齢化し、減少しています。現陣容では次回は無理なので、ただちに県や有識者が協力して若手人材の育成にとりかかること。
- （2）いまから空白期間なしに現組織を持続・発展させ、第4版つくりに向けた大学、県研究機関、民間、各種自然同好会等をつなぐ拠点とプラットフォームづくり、県立自然史資料館の体制と機能を強化すること。
- （3）標本とデータの保管・管理を「個人任せ」にせず体制を整備すること。長年蓄積された標本を収納・展示（自然史資料館等）、RDB情報のデータベース化（大学、県機関等）を推進（たとえば、GIS解析により県内の「生物多様性ホットスポット」の可視化と環境配慮への積極的利活用）すること。

2. 県民の理解、参加、支援をえるための活動

「ふるさと石川の環境を守り育てる条例」（平成16年、2004）、「石川県環境総合計画」（平成17年、2005、改定令和2年、2020）、「石川県生物多様性戦略ビジョン」（平成23年、2011）には、自然を守り育て、自然と人が共生する社会づくりにおける生物多様性とRDBの重要性が明示されています。本書の成果を県民、行政、事業者、教育機関、民間等にわかりやすく説明し、いっそうの理解と協力を得るために、たとえば以下の事業を実施する必要があります。

- （1）講演会、ワークショップ。
- （2）市民参加による絶滅危惧種の実態調査、青少年への自然体験プログラム。
- （3）自然公園施設（夕日寺健民自然園、県立森林公園等）にモニタリングサイトを設置、いしかわ自然学校等と連携した人材育成。

結びにあたり、刊行に尽力された関係者の皆さまに厚くお礼申し上げますとともに、本書が行政、事業者、関係団体等による野生生物の種の保存の取組に活用されることを期待します。手をたずさえて、次の10年をめざしましょう。

石川県野生動物保護対策調査会 代表 中村浩二

2. 改訂の概要

(1) 調査体制と経過

「いしかわレッドデータブック2009〈動物編〉」の改訂にあたっては、平成27年度（2015年度）から植物分野も含めた各分類群の専門家から構成された「いしかわレッドデータブック策定委員会」において、カテゴリー区分、掲載分類群、記載項目等第3版の作成方針について検討を行ってきた。

実際の改訂作業にあたっては、同委員会の動物分野のメンバーをはじめ、動物研究者、自然愛好家等から構成された「石川県野生動物保護対策調査会」が、平成27年度（2015年度）から平成30年度（2018年度）までの約3年半をかけて、石川県内全域における現地調査、掲載種の選定・評価等を実施した。

(2) 分類群とカテゴリー

・対象分類群

いしかわレッドデータブック2009〈動物編〉の分類群のうち陸産貝類及び淡水産貝類を統合し、次のとおりとした。また、調査の便宜上、前版と同様に浅海域の生物に海藻を含めた。

1. 哺乳類
2. 鳥類
3. 両生爬虫類
4. 淡水魚類
5. 昆虫類
6. 浅海域の生物（海藻、魚類、無脊椎動物）
7. 貝類
8. その他の動物

・カテゴリーの定義と区分

いしかわレッドデータブック2020〈動物編〉におけるカテゴリーの定義と区分は、いしかわレッドデータブック2000〈動物編〉、いしかわレッドデータブック2009〈動物編〉と同様のものとしている。

カテゴリーは、環境省のカテゴリー定義（別表）を準用しているが、絶滅危惧Ⅰ類は、ⅠA類とⅠB類とに分けていない。

いしかわレッドデータブック2020〈動物編〉のカテゴリーとその定義区分及び基本概念

●「 絶滅（EX） 」 石川県ではすでに絶滅したと考えられる種。
●「 野生絶滅（EW） 」 飼育・栽培下でのみ存続している種。
「 絶滅危惧 」＝絶滅のおそれのある種 ●「 絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN） 」 絶滅の危機に瀕している種。 ●「 絶滅危惧Ⅱ類（VU） 」 絶滅の危機が増大している種。
●「 準絶滅危惧（NT） 」 現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する危険性のある種。
●「 情報不足（DD） 」 評価するだけの情報が不足している種。
● 付属資料「地域個体群（LP）」 地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群。

別表 環境省の 카테고리一定義

区分及び基本概念	定性的要件	定量的要件
絶滅 Extinct (EX) 我が国ではすでに絶滅したと考えられる種 (注1)	過去に我が国に生息したことが確認されており、飼育・栽培下を含め、我が国ではすでに絶滅したと考えられる種	
野生絶滅 Extinct in the Wild (EW) 飼育・栽培下でのみ存続している種	過去に我が国に生息したことが確認されており、飼育・栽培下では存続しているが、我が国において野生ではすでに絶滅したと考えられる種 【確実な情報があるもの】 ①信頼できる調査や記録により、すでに野生で絶滅したことが確認されている。 ②信頼できる複数の調査によっても、生息が確認できなかった。 【情報量が少ないもの】 ③過去50年間前後の間に、信頼できる生息の情報が得られていない。	
絶滅危惧 I 類 (CR+EN) 絶滅の危機に瀕している種 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。 絶滅危惧 T H R E A T E N E D	次のいずれかに該当する種 【確実な情報があるもの】 ①既知のすべての個体群で、危機的水準にまで減少している。 ②既知のすべての生息地で、生息条件が著しく悪化している。 ③既知のすべての個体群がその再生産能力を上回る捕獲・採取圧にさらされている。 ④ほとんどの分布域に交雑のおそれのある別種が侵入している。 【情報量が少ないもの】 ⑤それほど遠くない過去(30～50年)の生息記録以後確認情報がなく、その後信頼すべき調査が行われていないため、絶滅したかどうかの判断が困難なもの。	絶滅危惧 I A類 Critically Endangered (CR) ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。 絶滅危惧 I A類 (CR) A. 次のいずれかの形で個体群の減少が見られる場合。 1. 最近10年間もしくは3世代のどちらか長い期間 (注2) を通じて、80%以上の減少があったと推定される。 2. 今後10年間もしくは3世代のどちらか長い期間を通じて、80%以上の減少があると予測される。 B. 出現範囲が100km ² 未満もしくは生息地面積が10km ² 未満であると推定されるほか、次のうち2つ以上の兆候が見られる場合。 1. 生息地が過度に分断されているか、ただ1カ所の地点に限定されている。 2. 出現範囲、生息地面積、成熟個体数等に継続的な減少が予測される。 3. 出現範囲、生息地面積、成熟個体数等に極度の減少が見られる。 C. 個体群の成熟個体数が250未満であると推定され、さらに次のいずれかの条件が加わる場合。 1. 3年間もしくは1世代のどちらか長い期間に25%以上の継続的な減少が推定される。 2. 成熟個体数の継続的な減少が観察、もしくは推定・予測され、かつ個体群が構造的に過度の分断を受けるか全ての個体が1つの亜個体群に含まれる状況にある。 D. 成熟個体数が50未満であると推定される個体群である場合。 E. 数量解析により、10年間、もしくは3世代のどちらか長い期間における絶滅の可能性が50%以上と予測される場合。

(注1) 種：動物では種及び亜種、植物では種、亜種及び変種を示す。

(注2) 最近10年間もしくは3世代：1世代が短く3世代に要する期間が10年未満のものは年数を、1世代が長く3世代に要する期間が10年を超えるものは世代数を採用する。

区分及び基本概念	定性的要件	定量的要件
<p style="text-align: center;">絶滅危惧 T H R E A T E N E D</p>	<p>絶滅危惧 I B類 Endangered (EN) I A類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの</p>	<p>絶滅危惧 I B類 (EN)</p> <p>A. 次のいずれかの形で個体群の減少が見られる場合。</p> <ol style="list-style-type: none"> 最近10年間もしくは3世代のどちらか長い期間を通じて、50%以上の減少があったと推定される。 今後10年間もしくは3世代のどちらか長い期間を通じて、50%以上の減少があると予測される。 <p>B. 出現範囲が5,000km²未満もしくは生息地面積が500km²未満であると推定されるほか、次のうち2つ以上の兆候が見られる場合。</p> <ol style="list-style-type: none"> 生息地が過度に分断されているか、5以下の地点に限定されている。 出現範囲、生息地面積、成熟個体数等に継続的な減少が予測される。 出現範囲、生息地面積、成熟個体数等に極度の減少が見られる。 <p>C. 個体群の成熟個体数が2,500未満であると推定され、さらに次のいずれかの条件が加わる場合。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5年間もしくは2世代のどちらか長い期間に20%以上の継続的な減少が推定される。 成熟個体数の継続的な減少が観察、もしくは推定・予測され、かつ個体群が構造的に過度に分断を受けるか全ての個体が1つの亜個体群に含まれる状況にある。 <p>D. 成熟個体数が250未満であると推定される個体群である場合。</p> <p>E. 数量解析により、20年間、もしくは5世代のどちらか長い期間における絶滅の可能性が20%以上と予測される場合。</p>
	<p>次のいずれかに該当する種</p> <p>【確実な情報があるもの】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①大部分の個体群で個体数が大幅に減少している。 ②大部分の生息地で生息条件が明らかに悪化しつつある。 ③大部分の個体群がその再生産能力を上回る捕獲・採取圧にさらされている。 ④分布域の相当部分に交雑可能な別種が侵入している。 	<p>A. 次のいずれかの形で個体群の減少が見られる場合。</p> <ol style="list-style-type: none"> 最近10年間もしくは3世代のどちらか長い期間を通じて、20%以上の減少があったと推定される。 今後10年間もしくは3世代のどちらか長い期間を通じて、20%以上の減少があると予測される。 <p>B. 出現範囲が20,000km²未満もしくは生息地面積が2,000 km²未満であると推定され、また次のうち2つ以上の兆候が見られる場合。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生息地が過度に分断されているか、10以下の地点に限定されている。 2. 出現範囲、生息地面積、成熟個体数等について、継続的な減少が予測される。 3. 出現範囲、生息地面積、成熟個体数等に極度の減少が見られる。
<p>絶滅危惧 II類 Vulnerable (VU) 絶滅の危険が増大している種</p> <p>現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧 I類」のランクに移行することが確実と考えられるもの。</p>		

区分及び基本概念	定性的要件	定量的要件
絶滅危惧 T H R E A T E N E D		C. 個体群の成熟個体数が10,000未満であると推定され、さらに次のいずれかの条件が加わる場合。 1. 10年間もしくは3世代のどちらか長い期間内に10%以上の継続的な減少が推定される。 2. 成熟個体数の継続的な減少が観察、もしくは推定・予測され、かつ個体群が構造的に過度の分断を受けるか全ての個体が1つの亜個体群に含まれる状況にある。 D. 個体群が極めて小さく、成熟個体数が1,000未満と推定されるか、生息地面積あるいは分布地点が極めて限定されている場合。 E. 数量解析により、100年間における絶滅の可能性が10%以上と予測される場合。
準絶滅危惧 Near Threatened (NT) 存続基盤が脆弱な種 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。	次に該当する種 生息状況の推移から見て、種の存続への圧迫が強まっていると判断されるもの。具体的には、分布域の一部において、次のいずれかの傾向が顕著であり、今後さらに進行するおそれがあるもの。 a) 個体数が減少している。 b) 生息条件が悪化している。 c) 過度の捕獲・採取圧による圧迫を受けている。 d) 交雑可能な別種が侵入している。	
情報不足 Data Deficient (DD) 評価するだけの情報が不足している種	環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧のカテゴリーに移行し得る属性（具体的には、次のいずれかの要素）を有しているが、生息状況をはじめとして、ランクを判定するに足る情報が得られていない種 a) どの生息地においても生息密度が低く希少である。 b) 生息地が局限されている。 c) 生物地理上、孤立した分布特性を有する（分布域がごく限られた固有種等）。 d) 生活史の一部または全部で特殊な環境条件を必要としている。	

●付属資料

区分及び基本概念	定性的要件	定量的要件
絶滅のおそれのある地域個体群 Threatened Local Population (LP) 地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。	次のいずれかに該当する地域個体群 ① 生息状況、学術的価値等の観点から、レッドデータブック掲載種に準じて扱うべきと判断される種の地域個体群で、生息域が孤立しており、地域レベルで見た場合絶滅に瀕しているかその危険が増大していると判断されるもの。 ② 地方型としての特徴を有し、生物地理学的観点から見て重要と判断される地域個体群で、絶滅に瀕しているか、その危険が増大していると判断されるもの。	

3. レッドデータブックの記載内容

- 種名（亜種名）

和名と学名を記載した。学名については、命名者も含む。

- 動物群名

目名と科名を記載した。ただし、浅海域の生物の無脊椎動物については、門まで記載した。

- カテゴリー

石川県カテゴリー：いしかわレッドデータブック2020〈動物編〉のカテゴリー区分を記載した。

国カテゴリー：環境省レッドリスト2019のカテゴリー区分を記載した。

- 選定理由

選定評価の理由を記載した。

- 形態

体サイズや色、特徴的な形状等について記載した。

- 国内分布

国内の分布状況について記載した。

- 県内分布

県内の分布状況について記載した。

- 生態

生息環境、食性、繁殖等について記載した。

- 生息地の条件

生息環境について記載した。

- 危険要因

生存に対する脅威等について記載した。

- 特記事項

学術的意義、希少種指定、天然記念物等について記載した。

- 参考文献

特に重要な文献等について、文献番号を記載し、各分野の末に文献一覧を記載した。

- 写真

生態写真または標本写真を掲載し、写真提供者または標本提供者の氏名を記載した。

- 分布図

生息地を2次メッシュ（約10km四方）または2次メッシュの1/4（約5km四方）により表示した。なお、一部の種については以下のいずれかの理由から表示をしていない。

①生息地の公表により、悪影響が懸念されるため。

②生息地に関する十分な情報がないため。

情報不足種については、上記項目の一部についてのみ記載した。

また、記入のない項目については、項目を省略した。

4. 選定結果

いしかわレッドデータブック2020〈動物編〉の選定種数は、下記の表のとおりで、474種が選定され、地域個体群を含めると501種が選定された。前回の「いしかわレッドデータブック2009〈動物編〉」と比較すると、地域個体群を含め、378種から123種の増加となった。特に昆虫類では、調査の進展等もあり、地域個体群を含め、172種から265種へと93種増加した。

表1 いしかわレッドデータブック2020〈動物編〉の選定種数

	絶滅	野生絶滅	絶滅危惧		小計	準絶滅危惧	情報不足	合計	地域個体群
			絶滅危惧I類	絶滅危惧II類					
哺乳類	2		7	7	14	8		24	
鳥類	1		16	20	36	29	5	71	4
両生爬虫類			2	1	3	4		7	1
淡水魚類			2	6	8	5	1	14	2
昆虫類	2		56	67	123	108	29	262	3
浅海域の生物				2	2	9	7	18	17
貝類			6	14	20	32	15	67	
その他の動物			1	1	2	5	4	11	
合計	5	0	90	118	208	200	61	474	27

※貝類は陸産貝類と淡水産貝類が統合された。

表2 いしかわレッドデータブック2009〈動物編〉掲載種数（参考）

	絶滅	野生絶滅	絶滅危惧		小計	準絶滅危惧	情報不足	合計	地域個体群
			絶滅危惧I類	絶滅危惧II類					
哺乳類	2		4	8	12	8		22	
鳥類	2		16	17	33	25	5	65	3
両生爬虫類			2	1	3	3		6	1
淡水魚類			2	3	5	4		9	1
昆虫類	2		40	35	75	66	24	167	5
浅海域の生物				2	2	7	14	23	16
貝類			陸産	7	8	24	5	37	
			淡水産	2	7	7	4		
その他の動物			1	1	2	3		5	
合計	6	0	71	76	147	147	52	352	26

表3 いしかわレッドデータブック〈動物編〉2000、2009、2020掲載種

		絶滅	野生絶滅	絶滅危惧		小計	準絶滅危惧	情報不足	合計	地域 個体群
				絶滅危惧 I類	絶滅危惧 II類					
哺乳類	2020	2		7	7	14	8		24	
	2009	2		4	8	12	8		22	
	2000	2			5	5	8	2	17	
鳥類	2020	1		16	20	36	29	5	71	4
	2009	2		16	17	33	25	5	65	3
	2000	2		13	18	31	23	2	58	3
両生爬虫類	2020			2	1	3	4		7	1
	2009			2	1	3	3		6	1
	2000			1	1	2	2	1	5	
淡水魚類	2020			2	6	8	5	1	14	2
	2009			2	3	5	4		9	1
	2000			2	2	4	4		8	
昆虫類	2020	2		56	67	123	108	29	262	3
	2009	2		40	35	75	66	24	167	5
	2000			28	14	42	49		91	1
浅海域の生物	2020				2	2	9	7	18	17
	2009				2	2	7	14	23	16
	2000				2	2	15	12	29	8
貝類 ※1	2020			6	14	20	32	15	67	
	2009			6	9	15	31	9	55	
	2000	-	-	-	-	-	※2 1	-	※2 1	-
その他の動物	2020			1	1	2	5	4	11	
	2009			1	1	2	3		5	
	2000				1	1	2		3	
合計	2020	5	0	90	118	208	200	61	474	27
	2009	6	0	71	76	147	147	52	352	26
	2000	4	0	44	43	87	103	17	211	12

※1 いしかわレッドデータブック 2000 では未実施、2009 では陸産貝類と淡水産貝類に分けて調査を実施

※2 「ヘグラマイマイ」をいしかわレッドデータブック 2000 では「その他動物」、2009 では「陸産貝類」に分類

5. レッドリスト

いしかわレッドデータブック2020〈動物編〉の掲載種をまとめたものを「石川県の絶滅のおそれのある野生生物 いしかわレッドリスト2020〈動物編〉」として掲載する。

〈凡例〉

国RLは環境省レッドリスト2019及び環境省海洋生物レッドリスト2017に基づいて記載
法指定等

- ・ワI：ワシントン条約附属書I ワII：ワシントン条約附属書II
- ・国特天：国指定特別天然記念物（文化財保護法）
- ・国天：国指定天然記念物（文化財保護法）
- ・県天：県指定天然記念物（石川県文化財保護条例）
- ・市町天：市町指定天然記念物（市町文化財保護条例）
- ・国内希：国内希少野生動植物種（絶滅のおそれのある野生生物の種の保存に関する法律）
- ・県希：県指定希少野生動植物種（ふるさと石川の環境を守り育てる条例）

和名の前に記載の記号の説明 県レッドデータブック2009からレッドリスト2020でのカテゴリー変化

- ↑：ランクアップ種 ↓：ランクダウン種 ○：新規掲載種 ◇：情報不足から変更された種 ◆：情報不足へ変更された種
- ：地域個体群から変更された種 ■：地域個体群へ変更された種 △：地域個体群の範囲が変更された種 無印：変更なし

1. 絶滅

5種

分類群	和名	学名	国RL	県RDB 2009	県RDB 2000	法指定等
哺乳類	ニホンカワウソ	<i>Lutra lutra (nippon)</i> Temminck	絶滅	絶滅	絶滅	ワI
	ニホンオオカミ	<i>Canis lupus (hodophilax)</i> Imaizumi & Yoshiyuki	絶滅	絶滅	絶滅	ワII
鳥類	↑ ヒメクロウミツバメ	<i>Oceanodroma monorhis</i> (Swinhoe)	II類	I類	I類	
昆虫類	タガメ	<i>Kirkaldyia deyrolli</i> (Vuillefroy)	II類	絶滅	I類	
	ミヤマシジミ	<i>Plebejus argyrognomon praeterinsularis</i> Verity	IB類	絶滅	I類	

2. 野生絶滅

なし

3. 絶滅危惧 I 類

90種

分類群	和名	学名	国RL	県RDB 2009	県RDB 2000	法指定等
哺乳類	ノレンコウモリ	<i>Myotis bombinus</i> Thomas		I類		
	クロホオヒゲコウモリ	<i>Myotis pruinosus</i> Yoshiyuki	II類	I類	II類	
	モリアブラコウモリ	<i>Pipistrellus endoi</i> Imaizumi	II類	I類		
	クビワコウモリ	<i>Eptesicus japonensis</i> Imaizumi	II類	I類	情報不足	
	↑ ヤマコウモリ	<i>Nyctalus aviator</i> Thomas	II類	II類	II類	
	↑ ヒナコウモリ	<i>Vespertilio sinensis</i> (Peters)		II類	準絶	
	○ ヒメヒナコウモリ	<i>Vespertilio murinus</i> Linnaeus	情報不足			
鳥類	↓ ライチョウ	<i>Lagopus muta</i> (Montin)	IB類	絶滅	絶滅	国内希、国特天
	コクガン	<i>Branta bernicla</i> (Linnaeus)	II類	I類	I類	国天
	○ コウノトリ	<i>Ciconia boyciana</i> Swinhoe	IA類			ワI、国内希、国特天
	サンカノゴイ	<i>Botaurus stellaris</i> (Linnaeus)	IB類	I類	I類	
	ヨシゴイ	<i>Ixobrychus sinensis</i> (Gmelin)	準絶	I類	I類	
	↓ トキ	<i>Nipponia nippon</i> (Temminck)	IA類	絶滅	絶滅	ワI、国内希、国特天
	クロツラヘラサギ	<i>Platalea minor</i> Temminck & Schlegel	IB類	I類	II類	
	ヒクイナ	<i>Porzana fusca</i> (Linnaeus)	準絶	I類	I類	
	ヘラシギ	<i>Eurynorhynchus pygmeus</i> (Linnaeus)	IA類	I類		国内希
	↑ タマシギ	<i>Rostratula benghalensis</i> (Linnaeus)	II類	II類	II類	
	コアジサシ	<i>Sterna albifrons</i> Pallas	II類	I類	I類	県希
	カンムリウミスズメ	<i>Synthliboraphus wumizusume</i> (Temminck)	II類	I類	I類	国天
	チュウヒ	<i>Circus spilonotus</i> Kaup	IB類	I類	I類	国内希、県希
	イヌワシ	<i>Aquila chrysaetos</i> (Linnaeus)	II類	I類	I類	国内希、国特天、石川県鳥
チゴモズ	<i>Lanis tigrinus</i> Drapiez	IA類	I類	I類		
アカモズ	<i>Lanis cristatus</i> Linnaeus	IB類	I類	準絶		
両生爬虫類	アベサンショウウオ	<i>Hynobius abei</i> Sato	IA類	I類		国内希
	ホクリクサンショウウオ	<i>Hynobius takedai</i> Matsui et Miyazaki	IB類	I類	I類	県希、羽咋市天、能登町天、宝達志水町天
淡水魚類	↑ ニホンイトヨ	<i>Gasterosteus nipponicus</i> Higuchi, Sakai and Goto	地域個体群	II類		
	トミヨ属淡水型	<i>Pungitius</i> sp.1	地域個体群	I類	I類	県希、県天

分類群	和名	学名	国 RL	県RDB 2009	県RDB 2000	法指定等
昆虫類	ホソミイトトンボ	<i>Aciagrion nigratum</i> (Selys)		I類	I類	
	ルリイトトンボ	<i>Enallagma boreale circulatum</i> Selys		I類	II類	
	コバネアオイトトンボ	<i>Lestes japonicus</i> Selys	IB類	I類		
	ホンサナエ	<i>Gomphus postocularis</i> Selys		I類	I類	
	オグマサナエ	<i>Trigomphus ogumai</i> Asahina		I類	I類	
	ヒメサナエ	<i>Sinogomphus flavolimbatus</i> (Oguma)		I類	I類	
	オナガサナエ	<i>Onychogomphus viridicostus</i> (Oguma)		I類	I類	
	カトリヤンマ	<i>Gynacantha japonica</i> Bartenef		I類	I類	
	↑マダラヤンマ	<i>Aeschna mixta</i> Latreille	準絶	II類	準絶	
	ハネヒロエゾトンボ	<i>Somatochlora clavata</i> Oguma	II類	I類	I類	
	↑マダラナニワトンボ	<i>Sympetrum maculatum</i> Oguma	IB類	II類	I類	
	カワラバツタ	<i>Eusphingonotus japonicus</i> (Saussure)		I類	II類	
	↑ミゾナシミズムシ	<i>Cymatia apparens</i> (Distant)	準絶	準絶		
	ホッケミズムシ	<i>Hesperocorixa distanti hokkensis</i> (Matsumura)	準絶	I類	II類	
	エサキアメンボ	<i>Limnporus esakii</i> (Miyamoto)	準絶	I類	I類	
	◇オオクツヤミズギワカメムシ	<i>Macrosaldula koreana</i> (Kiritshenko)		情報不足		
	○ハマベウスバカゲロウ	<i>Myrmeleon solers</i> Walker				
	ヒゲナガホラヒラタゴミムシ	<i>Jujiroa imunada</i> S. Uéno		I類	I類	
	イカリモンハンミョウ	<i>Abroscelis anchoralis punctatissima</i> (Schaum)	IB類	I類	I類	県天、県希
	ハラヒロハンミョウ	<i>Cicindela (Lophyridia) sumatrensis niponensis</i> Bates	II類	I類	I類	
	カワラハンミョウ	<i>Chaetodera laetescrpta laetescrpta</i> (Motschulsky)	IB類	I類	I類	
	ホソハンミョウ	<i>Cylindera (Cylindera) gracilis</i> Pallas	II類	I類	II類	
	ゲンゴロウ	<i>Cybister (Scaphinectes) chinensis</i> Motschulsky	II類	I類	II類	
	マルコガタノゲンゴロウ	<i>Cybister (Cybister) lewisianus</i> Sharp	IA類	I類		国内希、県希
	シャープゲンゴロウモドキ	<i>Dytiscus sharpi</i> Wehncke	IA類	I類	I類	国内希、県希
	マルガタゲンゴロウ	<i>Graphoderus adamsii</i> (Clark)	II類	I類		
	シマゲンゴロウ	<i>Hydaticus (Prodaticus) bowringii</i> Clark	準絶	I類	I類	
	ナガケシゲンゴロウ	<i>Hydroporus uenoi</i> Nakane		I類	I類	
	○コマルケシゲンゴロウ	<i>Hydrovatus acuminatus</i> Motschulsky	準絶			
	○サメハダマルケシゲンゴロウ	<i>Hydrovatus stridulus</i> Biström				
	マルケシゲンゴロウ	<i>Hydrovatus subtilis</i> Sharp	準絶	I類	準絶	
	○マダラコガシラミズムシ	<i>Haliphus (Liaphlus) sharpi</i> Wehncke	II類			
	カワラゴミムシ	<i>Omophron aequalis</i> Morawitz		I類	準絶	
	チュウブホソガムシ	<i>Hydrochus chubu</i> Balfour-Browne et Satô	II類	I類	I類	
	↑ヤマトホソガムシ	<i>Hydrochus japonicus</i> Sharp	準絶	II類		
	○マメガムシ	<i>Regimbartia attenuata</i> (Fabricius)				
	ベーツヒラタカミキリ	<i>Eurypoda (Neoprion) batesi</i> Gahan		I類	II類	
	↑クツヤヒゲナガコバネカミキリ	<i>Glaphyra hattorii</i> (Ohbayashi)		II類	II類	
	キイロミヤマカミキリ	<i>Margites fulvidus</i> (Pascoe)		I類	I類	
	↑オニホソコバネカミキリ	<i>Necydalis gigantean gigantean</i> Kano		II類		
	コトラカミキリ	<i>Plagionotus pulcher</i> (Blessig)	準絶	I類		
	○シコクヒメコバハナカミキリ	<i>Pseudosieversia shikokensis</i> Hayashi				
	↑ヨツボシカミキリ	<i>Stenygrinum quadrinotatum</i> Bates	IB類	II類		
	○トヤマオオミズクサハムシ	<i>Plateumaris constricticollis toyamensis</i> Tominaga et Katsura				
	シロズヒラタハバチ	<i>Chrysolyda leucocephala</i> (Takeuchi)	情報不足	I類	I類	
	オオナギナタハバチ	<i>Megaxyela togashii</i> Shinohara	II類	I類	I類	
	↑ニホンアミカモドキ	<i>Deuterophlebia nipponica</i> Kitakami	II類	準絶	準絶	
	イソメマトイ	<i>Hydrotaea glabricula</i> (Fallen)	IB類	I類	I類	
	カエルキンバエ	<i>Lucilia (Bufolucilia) chimi</i> Fan	情報不足	I類	I類	
	ゼニゴギンガクニクバエ	<i>Metopia stackeibergi</i> Rohdendorf		I類	I類	
	クロシジミ	<i>Niphanda fusca fusca</i> (Bremer et Grey)	IB類	I類	準絶	
	○ヤホシホソマダラ	<i>Balataea octomaculata</i> (Bremer)	準絶			
	○スキバホウジャク	<i>Hemaris radians</i> (Walker)	II類			
	↑ヤクシマコバヒゲアツバ	<i>Zanclognatha yakushimalis</i> Sugi		準絶	準絶	
	アオモンギンセダカモクメ	<i>Cucullia argentea</i> (Hufnagel)	準絶	I類	II類	
	↑ハマヤガ	<i>Agrotis desertorum</i> Boisduval	準絶	II類		

分類群	和名	学名	国 RL	県RDB 2009	県RDB 2000	法指定等
貝類	クビキレガイモドキ	<i>Cecina manchurica</i> A. Adams	準絶	I類	-	
	ナタネミズツボ	<i>Oncomelania minima</i> (Bartsch)	II類	I類	-	
	カワネジガイ	<i>Camptoceras hirasei</i> Walker	IA類	I類	-	
	ヒダリマキモノアラガイ	<i>Culmenella prashadi</i> (Clench)	I類	I類	-	
	○ナミマイマイ	<i>Euhadra sandai communis</i> Pilsbry			-	
	カワシンジュガイ	<i>Margaritifera laevis</i> (Haas)	IB類	I類	-	
その他の動物	ハッタミミズ*1	<i>Drawida hattamimizu</i> Hatai	準絶	I類		

4. 絶滅危惧II類 118種

分類群	和名	学名	国 RL	県RDB 2009	県RDB 2000	法指定等
哺乳類	ヒメホオヒゲコウモリ	<i>Myotis ikonnikovi</i> Ognev		II類	II類	
	カグヤコウモリ	<i>Myotis frater</i> Allen		II類	II類	
	ニホンウサギコウモリ	<i>Plecotus sacrimontis</i> G. M. Allen		II類	準絶	
	テングコウモリ	<i>Murina hilgendorfi</i> (Peters)		II類	準絶	
	コテングコウモリ	<i>Murina ussuriensis</i> Ognev		II類	準絶	
	↑ミズラモグラ	<i>Euroscaptor mizura</i> (Gunther)	準絶	準絶	準絶	
	アズミガリネズミ	<i>Sorex hosonoi</i> Imaizumi	準絶	II類	II類	
鳥類	ヒシクイ	<i>Anser fabalis</i> (Latham)	II類	II類	II類	国天
	マガン	<i>Anser albifrons</i> (Scopoli)	準絶	II類	II類	国天
	カリガネ	<i>Anser erythropus</i> (Linnaeus)	IB類	II類		
	トモエガモ	<i>Anas formosa</i> Georgi	II類	II類	準絶	
	↓ミゾゴイ	<i>Gorsachius goesagi</i> (Temminck)	II類	I類	II類	
	○マナヅル	<i>Grus vipio</i> Pallas	II類			ワI
	○ナベヅル	<i>Grus monacha</i> Temminck	II類			ワI
	ヨタカ	<i>Caprimulgus indicus</i> Latham	準絶	II類	II類	
	イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i> Gray & Gray		II類	II類	
	◇オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i> (Gray)		情報不足	情報不足	
	オジロワシ	<i>Haliaeetus albicilla</i> (Linnaeus)	II類	II類	II類	国内希、国天
	↓クマタカ	<i>Nisaetus nipalensis</i> Hodgson	IB類	I類	I類	国内希
	◇オオコノハズク	<i>Otus lempiji</i> (Horsfield)		情報不足	準絶	
	↑コノハズク	<i>Otus sunia</i> (Hodgson)		準絶	準絶	
	アオバズク	<i>Ninox scutulata</i> (Raffles)		II類	II類	
	ブッポウソウ	<i>Eurystomus orientalis</i> (Linnaeus)	IB類	II類	II類	
	○ヤイロチョウ	<i>Pitta nympha</i> Temminck & Schlegel	IB類			ワII
	↑コシアカツバメ	<i>Hirundo daurica</i> Laxmann		準絶		
	↑ノジコ	<i>Emberiza sulphurata</i> Temminck & Schlegel	準絶	準絶	準絶	
	コジュリン	<i>Emberiza yessoensis</i> (Swinhoe)	II類	II類		
両生爬虫類	アカウミガメ	<i>Caretta caretta</i> (Linnaeus)	IB類	II類	II類	ワI
淡水魚類	○カワヤツメ	<i>Lethenteron camtschaticum</i> (Tilesius)	II類	II類		
	○スナヤツメ北方種	<i>Lethenteron</i> sp.N.	II類			
	ホトケドジョウ	<i>Lefua echigonia</i> Jordan and Richardson	IB類	II類	II類	県希、小松市天
	アカザ	<i>Liobagrus reinii</i> Hilgendorf	II類	II類	II類	
	↓シラウオ	<i>Salangichthys microdon</i> (Bleeker)		I類	I類	
	○カジカ(中卵型)	<i>Cottus</i> sp.	II類			
昆虫類	↑モートンイトトンボ	<i>Mortonagrion selenion</i> (Ris)	準絶	準絶		
	◇ムスジイトトンボ	<i>Cercion sexlineatum</i> (Selys)		情報不足		
	キイロサナエ	<i>Asiagomphus pryeri</i> (Selys)	準絶	II類	I類	
	↑ヒラサナエ	<i>Davidius moiwanus taruii</i> Asahina et Inoue		準絶	準絶	
	アオサナエ	<i>Nihonogomphus viridis</i> Oguma		II類	準絶	
	○アオヤンマ	<i>Aeschnophlebia longistigma</i> Selys	準絶			
	○ハッチョウトンボ	<i>Nannophya pygmaea</i> Rambur				
	↑キトンボ	<i>Sympetrum croceolum</i> Selys		準絶		
	エゾエンマコオロギ	<i>Teleogryllus yezoemma kawara</i> (Ohmachi & Matsuura)		II類	準絶	
	○ナギサスズ	<i>Caconemobius sazanami</i> (Furukawa)				
	○セグロイナゴ	<i>Shirakiacris shirakii</i> (Bolivar)				

分類群	和名	学名	国 RL	県RDB 2009	県RDB 2000	法指定等
	コオイムシ	<i>Appasus japonicus</i> Vuillefroy	準絶	II類	I類	
	↑ミヤケミズムシ	<i>Xenocorixa vittipennis</i> (Horváth)	準絶	準絶		
	↓ヒメマルミズムシ	<i>Paraplea indistinguenda</i> (Matsumura)		I類		
	○オヨギカタビロアメンボ	<i>Xiphovelia japonica</i> Esaki et Miyamoto	準絶			
	ウエダオオズナガゴミムシ	<i>Pterostichus uedaorum</i> Morita et Hirasawa		II類	準絶	
	オオヒョウタンゴミムシ	<i>Scarites (Scarites) sulcatus sulcatus</i> Olivier	準絶	II類	準絶	
	○チャイロマメゲンゴロウ	<i>Agabus browni</i> Kamiya				
	○キボシケシゲンゴロウ	<i>Allopachria flavomaculata</i> (Kamiya)	情報不足			
	テラニシセスジゲンゴロウ	<i>Copelatus teranishii</i> Kamiya		II類		
	○ケシゲンゴロウ	<i>Hyphydrus japonicus</i> Sharp	準絶			
	ヒメケシゲンゴロウ	<i>Hyphydrus laeviventris</i> Sharp	II類	II類		
	○コウベツブゲンゴロウ	<i>Laccophilus kobensis</i> Sharp	準絶			
	↑ルイスツブゲンゴロウ	<i>Laccophilus lewisius</i> Sharp	II類	準絶		
	ヒメミズスマシ	<i>Gyrinus (Gyrinus) gestroi</i> Régimbart	IB類	II類		
	↑ミズスマシ	<i>Gyrinus (Gyrinus) japonicus</i> Sharp	II類	準絶		
	↑ヒメコガシラミズムシ	<i>Haliphus (Liaphlus) ovalis</i> Sharp		準絶		
	↓コガムシ	<i>Hydrochara affinis</i> (Sharp)	情報不足	I類	II類	
	ネプトクワガタ本土亜種	<i>Aegus laevicollis subnitidus</i> Waterhouse		II類	準絶	
	ヒメオオクワガタ	<i>Dorcus montivagus montivagus</i> (Lewis)		II類		
	アカマダラハナムグリ	<i>Anthracophora rusticola</i> Burmeister	情報不足	II類		
	○ヨコミゾドロムシ	<i>Leptelmis gracilis</i> Sharp	II類			
	○ケスジドロムシ	<i>Pseudamophilus japonicus</i> Nomura	II類			
	○ツヤナガタマムシ	<i>Agrilus cupes</i> Lewis				
	○ニッポンカトスジナガタマムシ	<i>Agrilus japanocarinatus</i> Ohmomo				
	○コーヨーナガタマムシ	<i>Agrilus koyoi</i> Ohmomo				
	○アオナガタマムシ	<i>Agrilus planipennis</i> Fairmaire				
	クロマダラタマムシ	<i>Nipponobuprestis (Nipponobuprestisia) querceti</i> (E.Saunders)		II類	準絶	
	○ムネアカクロコメツキ	<i>Ischnodes sanguinicollis maiko</i> W.Suzuki				
	ベーツヤサカミキリ	<i>Leptoxenus ibidiiformis</i> Bates		II類	II類	
	ヒゲブトハナカミキリ	<i>Pachypidonia bodemeyeri</i> (Pic)		II類		
	○カスガキモンカミキリ	<i>Paramenesia kasugensis</i> (Seki et Kobayashi)				
	トホシカミキリ	<i>Saperda alberti</i> Plavilstshikov		II類		
	○トドマツカミキリ	<i>Tetropium castaneum</i> (Linnaeus)				
	オオルリハムシ	<i>Chrysolina virgata</i> (Motschulsky)	準絶	II類		
	◇ツヤネクイハムシ	<i>Donacia nitidior</i> (Nakane)		情報不足		
	○サメハダハマキチョッキリ	<i>Byctiscus rugosus</i> (Gebler)				
	○ニッポンハナダカバチ	<i>Bembix niponica niponica</i> Smith	II類			
	○キアシハナダカバチモドキ	<i>Stizus perrisi</i> Dufour	II類			
	↓ゴヘイニクバエ	<i>Sarcophila japonica</i> (Rohdendorf)	II類	I類	I類	
	↑ホシチャバネセセリ	<i>Aeromachus inachus inachus</i> (Menetries)	IB類	準絶	準絶	
	○シルビアシジミ	<i>Zizina emelina terukoae</i> Kimura	IB類			
	能登半島北西部亜種					
	ゴマシジミ	<i>Phengaris teleius hosonoi</i> (A.Takahashi)	II類	II類	準絶	
	中部高地帯亜種					
	ヒメシジミ	<i>Plebejus argus micrargus</i> (Butler)	準絶	II類	準絶	
	本州・九州亜種					
	アサマシジミ	<i>Plebejus subsolanus yarigadakeanus</i> (Matsumura)	II類	II類	準絶	
	本州高地亜種					
	↑オオミスジ	<i>Neptis alwina</i> (Bremer et Grey)		準絶		
	ハマゴウノメイガ	<i>Aglaops albipennis</i> Inoue		II類		
	○ババエダシヤク	<i>Hesperumia babai</i> Sato				
	○メンガタズメ	<i>Acherontia styx medusa</i> Moore				
	○ヤネホソバ	<i>Eilema fuscodorsalis</i> (Matsumura)	準絶			
	◇ヒメシロシタバ	<i>Catocala nagioides</i> Wileman	準絶	情報不足		
	○クビジロツメヨトウ	<i>Oncocnemis campicola</i> Lederer				
	○ヌマベウスキヨトウ	<i>Chilodes pacificus</i> Sugi	II類			
	↑ガマヨトウ	<i>Capsula aerata</i> (Butler)	II類	準絶	準絶	
	○ギンモンアカヨトウ	<i>Plusilla rosalia</i> Staudinger	II類			
	○ミスジキリガ	<i>Jodia sericea</i> (Butler)	準絶			
	カギモンキリガ	<i>Orthosia nigromaculata</i> (Höne)		II類		

分類群	和名	学名	国 RL	県RDB 2009	県RDB 2000	法指定等
浅海域の生物 (海藻)	ヒジキ	<i>Sargassum fusiforme</i> (Harvey) Setchell		II類	II類	
	マルバアサクサノリ	<i>Pyropia kuniedae</i> (Kurogi) Hwang et Choi	I類	II類	II類	
貝類	ヤマトクビキレガイ	<i>Truncatella pfeifferi</i> Martens		II類	-	
	オオウスイロヘソカドガイ	<i>Paludinellassiminea tanegashimae</i> (Pilsbry)		II類	-	
	↑ ナガオカモノアラガイ	<i>Oxyloma hirasei</i> (Pilsbry)	準絶	準絶	-	
	↑ オクガタギセル	<i>Megalophaedusa dorcas</i> (Pilsbry)	準絶	準絶	-	
	トノサマガセル	<i>Megalophaedusa ducalis</i> (Kobelt)	準絶	II類	-	
	↑ コンボウギセル	<i>Mesophaedusa hickonis hickonis</i> (Boettger)		準絶	-	
	↑ ハゲギセル	<i>Pinguiphaedusa attrita attrita</i> (Boettger)		準絶	-	
	ココロマイマイ	<i>Satsuma cardiostoma</i> (Kobelt)	II類	II類	-	
	オウミケマイマイ*2	<i>Aegista omiensis</i> (Pilsbry)	II類	II類	-	
	ハクサンマイマイ	<i>Euhadra latispira latispira</i> (Pilsbry et Hirase)	II類	II類	-	
	ミヤマヒダリマキマイマイ	<i>Euhadra scaevola scaevola</i> (Martens)	II類	II類	-	
	カラスガイ	<i>Cristaria plicata</i> (Leach)	準絶	II類	-	
	ヨコハマシジラガイ	<i>Inversiunio jokohamensis</i> (Ihering)	準絶	II類	-	
↓ カタハガイ	<i>Obovalis omiensis</i> (Heimberg)	II類	I類	-		
その他の動物	イノコモリグモ	<i>Lycosa ishikariana</i> (S.Saito)	II類	II類	II類	県希

5. 準絶滅危惧

200種

分類群	和名	学名	国 RL	県RDB 2009	県RDB 2000	法指定等
哺乳類	ヒメヒミズ	<i>Dymecodon pilirostris</i> True		準絶		
	シントウトガリネズミ	<i>Sorex shinto</i> Thomas		準絶		
	カワネズミ	<i>Chimarrogale platycephala</i> (Temminck)		準絶		
	カヤネズミ	<i>Micromys minutus</i> (Pallas)		準絶	情報不足	
	○ ヤチネズミ	<i>Eothenomys andersoni</i> (Thomas)				
	ニホンモモンガ	<i>Pteromys momonga</i> Temminck		準絶	準絶	
	ヤマネ	<i>Glirulus japonicus</i> (Schinz)		準絶	準絶	国天
	オコジョ	<i>Mustela erminea</i> (Linnaeus)	準絶	準絶	準絶	
鳥類	ヤマドリ	<i>Syrnaticus soemmerringii</i> (Temminck)		準絶		
	オシドリ	<i>Aix galericulata</i> (Linnaeus)	情報不足	準絶	準絶	
	シノリガモ	<i>Histrionicus histrionicus</i> (Linnaeus)		準絶	準絶	
	ビロードキンクロ	<i>Melanitta fusca</i> (Linnaeus)		準絶		
	○ クロガモ	<i>Melanitta americana</i> (Swainson)				
	ササゴイ	<i>Butorides striata</i> (Linnaeus)		準絶	準絶	
	クロサギ	<i>Egretta sacra</i> (Gmelin)		準絶	準絶	
	○ ヘラサギ	<i>Platalea leucorodia</i> (Linnaeus)	情報不足			
	○ バン	<i>Gallinula chloropus</i> (Linnaeus)				
	○ カッコウ	<i>Cuculus canorus</i> Linnaeus				
	↓ シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i> Linnaeus	II類	II類	準絶	内灘町天
	ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i> Linnaeus		準絶	準絶	
	↓ ホウロクシギ	<i>Numenius madagascariensis</i> (Linnaeus)	II類	II類	II類	
	○ ツルシギ	<i>Tringa erythropus</i> (Pallas)	II類			
	○ タカブシギ	<i>Tringa glareola</i> Linnaeus	II類			
	イソシギ	<i>Actitis hypoleucos</i> (Linnaeus)		準絶	準絶	
	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i> (Linnaeus)	準絶	準絶	準絶	
	ハチクマ	<i>Pernis ptilorhyncus</i> (Temminck)	準絶	準絶	準絶	
	○ ツミ	<i>Accipiter gularis</i> (Temminck & Schlegel)				
	ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i> (Linnaeus)	準絶	準絶	準絶	
	↓ オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i> (Linnaeus)	準絶	II類	I類	
	↓ サシバ	<i>Butastur indicus</i> (Gmelin)	II類	II類	II類	
	ノスリ	<i>Buteo buteo</i> (Linnaeus)		準絶	情報不足	
↓ アカショウビン	<i>Halcyon coromanda</i> (Latham)		II類	II類		
↓ ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i> Tunstall	II類	II類	II類	国内希	
○ コヨシキリ	<i>Acrocephalus bistrigiceps</i> Swinhoe					

分類群	和名	学名	国 RL	県RDB 2009	県RDB 2000	法指定等
	セッカ	<i>Cisticola juncidis</i> (Rafinesque)		準絶	II 類	
	○クロツグミ	<i>Turdus cardis</i> Temminck				
	○ホオアカ	<i>Emberiza fucata</i> Pallas				
両生爬虫類	ナガレタゴガエル	<i>Rana sakuraii</i> Matsui et Matsui		準絶	情報不足	
	タカチホヘビ	<i>Achalinus spinalis</i> Peters		準絶	準絶	
	シロマダラ	<i>Dinodon orientale</i> (Hilgendorf)		準絶	準絶	
	○ニホンイシガメ	<i>Mauremys japonica</i> (Temminck et Schlegel)	準絶			ワ II
淡水魚類	○スナヤツメ南方種	<i>Lethenteron</i> sp.S.	II 類			
	ミナミアカヒレタビラ	<i>Acheilognathus tabira jordani</i> Arai, Fujikawa and Nagata	IA 類	準絶	準絶	
	アジメドジョウ	<i>Niwaella delicata</i> (Niwa)	II 類	準絶	準絶	
	シンジコハゼ	<i>Gymnogobius taranetzi</i> (Pinchuk)	II 類	準絶	準絶	
	ホクリクジュズカケハゼ	<i>Gymnogobius</i> sp.2	IA 類	準絶	準絶	
昆虫類	オツネトンボ	<i>Sympecma paedisca paedisca</i> (Eversmann)		準絶	準絶	
	○ムカシトンボ	<i>Epiophlebia superstes</i> (Selys)				
	ネアカヨシヤンマ	<i>Aeschnophlebia anisoptera</i> Selys	準絶	準絶	準絶	
	○トラフトンボ	<i>Epiteca marginata</i> (Selys)				
	カラカネトンボ	<i>Cordulia aenea amurensis</i> Selys		準絶	準絶	
	カオジロトンボ	<i>Leucorrhinia dubia orientalis</i> Selys	準絶	準絶		
	ミネトワダカワゲラ	<i>Scopura montana</i> Maruyama		準絶	準絶	
	↓オオゴキブリ	<i>Panesthia angustipennis spadica</i> (Shiraki)		II 類	II 類	
	↓ヒナカマキリ	<i>Amantis nawai</i> (Shiraki)		II 類	II 類	
	ウスバカマキリ	<i>Mantis religiosa</i> (Linnaeus)	情報不足	準絶		
	◇クマコオロギ	<i>Mitius minor</i> (Shiraki)		情報不足		
	○ヒロバネカント	<i>Oecanthus euryelytra</i> Ichikawa				
	○キンヒバリ	<i>Natula matsururai</i> Sugimoto				
	ハマスズ	<i>Dianemobius csikii</i> (Bolivar)		準絶		
	○セスジササキリモドキ	<i>Xiphidiopsis albicornis</i> (Motschoulsky)				
	○ハネナガイナゴ	<i>Oxya japonica</i> (Thunberg)				
	○ショウリョウバッタモドキ	<i>Gonista bicolor</i> (de Haan)				
	ヤマトマダラバッタ	<i>Epacromius japonicus</i> (Shiraki)		準絶		
	ハウチワウンカ	<i>Trypetimorpha japonica</i> Ishihara	II 類	準絶		
	○タイコウチ	<i>Laccotrepes japonensis</i> Scott				
	ヒメミズカマキリ	<i>Ranatra unicolor</i> Scott		準絶		
	◇エゾコセアカアメンボ	<i>Gerris (Macrogerris) yezoensis</i> Miyamoto		情報不足		
	マツムラクサカゲロウ	<i>Semachrysa matsumurae</i> (Okamoto)		準絶	準絶	
	オオウスバカゲロウ	<i>Heoclis japonica</i> (Hagen)		準絶		
	セアカオサムシ	<i>Hemicarabus tuberculatus</i> (Dejean et Boisduval)	準絶	準絶		
	○ミヤマゴモクムシ	<i>Harpalus (Harpalus) solitaris</i> Dejean				
	タカバクロヒラタゴミムシ	<i>Platynus takabai</i> (Habu)		準絶	準絶	
	○アイヌハンミョウ	<i>Cicindela (Cicindela) gemmata aino</i> Lewis	準絶			
	○ナミハンミョウ	<i>Cicindela (Sophiodela) japonica</i> Thunberg				
	クログンゴロウ	<i>Cybister brevis</i> Aubé	準絶	準絶	準絶	
	○キボシツブゲンゴロウ	<i>Japanolaccophilus nipponensis</i> (Kamiya)		準絶		
	○マルチビゲンゴロウ	<i>Leiodytes frontalis</i> (Sharp)		準絶		
	◇コオナガミズスマシ	<i>Orectochilus (Orectochilus) punctipennis</i> Sharp	II 類	情報不足		
	○クロホシコガシラミズムシ	<i>Haliplus (Liaphlus) basinotatus</i> Zimmermann	II 類			
	クビボソコガシラミズムシ	<i>Haliplus (Haliplus) japonicus</i> Sharp	情報不足	準絶		
	○ニッポントゲバゴマフガムシ	<i>Berosus (Enoplurus) nipponicus</i> Schödl				
	ガムシ	<i>Hydrophilus acuminatus</i> Motschulsky	準絶	準絶		
	○ミユキシジミガムシ	<i>Laccobius (Laccobius) inopimus</i> Gentili	準絶			
	ヒメハマベエンマムシ	<i>Hypocacculus (Nessus) asticus</i> (Lewis)		準絶		
	オオセンチコガネ	<i>Phelotrupes (Chromogeotrupes) auratus auratus</i> (Motschulsky)		準絶		
	ツヤハダクワガタ 中部近畿亜種	<i>Ceruchus lingarius monticola</i> Nakane		準絶		
	オオチャイロハナムグリ	<i>Osmoderma opicum</i> Lewis	準絶	準絶	準絶	

分類群	和名	学名	国 RL	県RDB 2009	県RDB 2000	法指定等
	○トラハナムグリ	<i>Trichius japonicus</i> Janson				
	コブナシコブスジコガネ	<i>Trox (Niditrox) nohirai</i> Nakane		準絶		
	○トガリカラカネナガタマムシ	<i>Agrilus madeci</i> Baudon				
	○スジバナガタマムシ	<i>Agrilus sachalinicola</i> Obenberge				
	○ミヤマナカボソタマムシ	<i>Coraebus daisenesis</i> Miwa				
	アオマダラタマムシ	<i>Nipponobuprestis (Nipponobuprestis) amabilis</i> (Snellen van Vollenhoven)		準絶	準絶	
	エサキキンヘリタマムシ	<i>Lamprodila (Lamprodila) decipiens kamikochiana</i> (Obenberger)		準絶		
	○シナノキチビタマムシ	<i>Trachys aurifluus</i> Solsky				
	○サシゲチビタマムシ	<i>Trachys robusta</i> E. Saunders				
	ヒメボタル	<i>Luciola (Hotaria) parvula</i> (Kiesenwetter)		準絶	準絶	
	ヤマトヒメメダカカッコウムシ	<i>Neohydnius hozumii</i> Nakane		準絶		
	◇イソジョウカイモドキ	<i>Laius asahinai</i> Nakane	情報不足	情報不足		
	クロズハマベゴミムシダマシ	<i>Phaleria (Epiphaleria) atriceps</i> (Lewis)		準絶		
	フタスジカタビロハナカミキリ	<i>Brachyta bifasciata japonica</i> (Matsushita)		準絶		
	○クモマハナカミキリ	<i>Evodinus borealis</i> (Gyllenhal)				
	○シロオビドイカミキリ	<i>Mimectatina fuscoplagiata</i> (Breuning)				
	ニセリンゴカミキリ	<i>Oberea (Oberea) mixta</i> Bates		準絶		
	○ハクサンシラネヒメハナカミキリ	<i>Pidonia obscurior hakusana</i> K.Ohbayashi et Hayashi				
	○フイリヒメハナカミキリ	<i>Pidonia signata</i> Matsushita				
	○ヘリグロアオカミキリ	<i>Saperda hosokawai</i> Hasegawa				
	○マルクビケマダラカミキリ	<i>Trichoferus campestris</i> (Faldermann)				
	◇ガガブタネクイハムシ	<i>Donacia lenzi</i> Schönfeldt		情報不足		
	◇イネネクイハムシ	<i>Donacia provostii</i> Fairmaire		情報不足		
	○リュウキュウカギアシゾウムシ	<i>Bagous picturatus</i> Egorov et Grotshev				
	スタッカゾウムシ	<i>Nipponalophus nutakkanus</i> (Kono)		準絶	準絶	
	ウマノオバチ	<i>Euurobracon yokahamae</i> (Dalla Torre)	準絶	準絶		
	クロモンアメバチ	<i>Dicamptus nigropictus</i> (Matsumura)		準絶		
	○フジジガバチ	<i>Ammophila atripes japonica</i> Kohl	準絶			
	○アカオビケラトリバチ	<i>Larra amplipennis</i> (Smith)	準絶			
	○ムツボシクモバチ	<i>Anoplius viaticus</i> (Linnaeus)	準絶			
	◇アオスジクモバチ	<i>Paracyphononyx alienus</i> (Smith)		情報不足		
	↓ ハイイロクモバチ	<i>Pompilus cinereus</i> (Fabricius)		II 類	II 類	
	○キオビホオナガズメバチ	<i>Dolichovespula media sugare</i> Ishikawa	情報不足			
	○ヤドリホオナガズメバチ	<i>Dolichovespula adulterina montivaga</i> Yamane	情報不足			
	エサキムカシハナバチ	<i>Colletes (Colletes) esakii</i> Hirashima		準絶	準絶	
	○ナミルリモンハナバチ	<i>Thyreus decorus</i> (Smith)	情報不足			
	カニギンモンアミカ	<i>Neohapalothrix kanii</i> Kitakami	II 類	準絶	準絶	
	○トワダオオカ	<i>Toxorhynchites (Toxorhynchites) towadensis</i> (Matsumura)				
	タシマツルギアブ	<i>Acrosathe tashimai</i> Nagatomi & Lyneborg		準絶		
	ヘリグロチャバネセセリ	<i>Thymelicus sylvaticus sylvaticus</i> (Bremer)		準絶		
	オオチャバネセセリ	<i>Polytrems pellucida pellucida</i> (Murray)		準絶		
	ギフチョウ	<i>Luehdorfia japonica</i> Leech	II 類	準絶	準絶	
	ウラギンスジヒョウモン	<i>Argyronome laodice japonica</i> (Ménétrières)	II 類	準絶		
	オオムラサキ	<i>Sasakia charonda charonda</i> (Hewitson)	準絶	準絶	準絶	
	クモマベニヒカゲ本州亜種	<i>Erebia ligea takanonis</i> Matsumura	準絶	準絶	準絶	
	○オオギンスジコウモリ	<i>Gazoryctra macilenta</i> (Eversmann)				
	○フジキオビ	<i>Schistomitra funeralis</i> Butler				
	○ハイイロボクトウ	<i>Phragmataecia castaneae</i> (Hübner)	準絶			
	モンクロキイロナミシヤク	<i>Stannodes danilovi sugitanii</i> Prout		準絶	準絶	
	○オナガミズアオ	<i>Actias gnoma gnoma</i> (Butler)	準絶			
	◇ネズミホソバ	<i>Pelosia angusta</i> (Staudinger)		情報不足		
	○シロホソバ	<i>Eilema degenerella</i> (Walker)	準絶			
	○キシタアツバ	<i>Hypena claripennis</i> (Butler)	準絶			
	チャバネキボシアツバ	<i>Paragabara ochreipennis</i> Sugi		準絶	準絶	
	○カギモンハナオイアツバ	<i>Cidaripura signata</i> (Butler)	準絶			

分類群	和名	学名	国 RL	県RDB 2009	県RDB 2000	法指定等
	○ミヤマキシタバ	<i>Catocala ella ella</i> Butler		準絶		
	○フシキキシタバ	<i>Catocala separans</i> Leech				
	○ナマリキシタバ	<i>Catocala columbina yoshihikoi</i> Ishizuka				
	○コシロシタバ	<i>Catocala actaea</i> Felder & Rogenhofer		準絶		
	○ミヤマセダカモクメ	<i>Cucullia lucifuga</i> (Denis & Schiffermüller)				
	○ニセタバコガ	<i>Heliocheilus fervens</i> (Butler)				
	オオチャバネヨトウ	<i>Nonagria puengeleri</i> (Schawerda)	II 類	準絶	準絶	
	ハネナガモクメキリガ	<i>Xylena nihonica</i> Höne		準絶	準絶	
	○アヤモクメキリガ	<i>Xylena fumosa</i> (Butler)				
	○チャマダラキリガ	<i>Rhynchaglaea scitula</i> (Butler)				
	○シロオビヨトウ	<i>Hadena (Hadena) compta armeriae</i> (Guenée)		準絶		
浅海域の生物 (海藻)	ホソエガサ	<i>Acetabularia caliculus</i> Lamouroux	I 類	準絶	準絶	
	イシゲ	<i>Ishige okamurae</i> Yendo		準絶	準絶	
	ホソナガベニハノリ	<i>Hypoglossum nipponicum</i> Yamada		準絶	準絶	
	ノイトグサ	<i>Neosiphonia notoensis</i> (Segi) Kim et Lee		準絶	準絶	
浅海域の生物 (無脊椎動物)	キクメイシモドキ	<i>Oulastrea crispata</i> (Lamarck)		準絶	準絶	
	ムツサンゴ	<i>Rhizopsammia minuta mutsuensis</i> Yabe et Eguchi		準絶	準絶	
	□ サクラオフェリア	<i>Euzonus arcticus</i> Grube				地域個体群 情報不足
	□ エゾオフェリア	<i>Euzonus ezoensis</i> (Okuda)				地域個体群 情報不足
	○ カリガネエガイ	<i>Barbatia virescens</i> (Reeve)				
貝類	イシマキガイ	<i>Clithon retropictus</i> (Martens)		準絶	-	
	○ ヤマタニシ	<i>Cyclophorus herklotsi</i> Martens			-	
	○ マルタニシ	<i>Cipangopaludina chinensis laeta</i> (Martens)	II 類		-	
	イツマデガイ	<i>Blanfordia japonica</i> (A. Adams)		準絶	準絶	-
	ニクイロシブキツボ	<i>Fukuia kurodai</i> Abbott & Hunter		準絶	準絶	-
	◇ サツマクリイロカワザンショウ類の一種	<i>Angustassiminea</i> sp.		情報不足	-	
	カワザンショウガイ	<i>Assiminea lutea japonica</i> Martens		準絶	-	
	ウミノナ	<i>Batillaria multiformis</i> (Lischke)		準絶	準絶	-
	オオタキコギセル	<i>Euphaedusa digonoptyx</i> (Boettger)		準絶	-	
	ナミコギセル	<i>Euphaedusa tau tau</i> (Boettger)		準絶	-	
	オオコウラナメクジ	<i>Nipponarion carinatus</i> Yamaguchi & Habe		準絶	準絶	-
	ヤマコウラナメクジ	<i>Nipponolimax monticola</i> Yamaguchi et Habe		準絶	準絶	-
	ヒラベッコウ*3	<i>Bekkochlamys micrograpta</i> (Pilsbry)		情報不足	準絶	-
	クイロベッコウ	<i>Japanochlamys cerasina</i> (Pilsbry)		情報不足	準絶	-
	カズマキベッコウ	<i>Japanochlamys decens</i> (Pilsbry et Hirase)		情報不足	準絶	-
	キヌツヤベッコウ	<i>Nipponochlamys semisericata</i> (Pilsbry)		情報不足	準絶	-
	ヒメハリマキビ	<i>Parakaliella pagoduloides</i> (Gude)		準絶	準絶	-
	スジキビ	<i>Parakaliella ruida</i> (Pilsbry)		準絶	準絶	-
	オオウエキビ	<i>Trochochlamys fraterna</i> (Pilsbry)		情報不足	準絶	-
	ヒメカサキビ	<i>Trochochlamys subcrenulata subcrenulata</i> (Pilsbry)		準絶	準絶	-
	エチゼンビロウドマイマイ	<i>Nipponochloritis echizenensis</i> (Pilsbry et Hirase)		情報不足	準絶	-
	ケハダビロウドマイマイ	<i>Nipponochloritis fragilis</i> (Gude)		準絶	準絶	-
	コシタカコベソマイマイ	<i>Satsuma fusca</i> (Gude)		準絶	準絶	-
	コベソマイマイ	<i>Satsuma myomphala myomphala</i> (Martens)			準絶	-
	ヤマタカマイマイ	<i>Satsuma papilliformis</i> (Kobelt)		準絶	準絶	-
	○ ツルガマイマイ	<i>Euhadra latispira tsurugensis</i> (Cockerll)			-	
	ヘグラマイマイ*4	<i>Euhadra quaesita heguraensis</i> Kuroda et Tan		準絶	準絶	準絶
	○ ヒダリマキマイマイ	<i>Euhadra quaesita quaesita</i> (Deshayes)			-	
	○ コガネマイマイ	<i>Euhadra sandai sandai</i> (Kobelt)			-	
	タワラガイ	<i>Sinoennea iwakawa</i> (Pilsbry)			準絶	-
	マツカサガイ	<i>Pronodularia japonensis</i> (Lea)		準絶	準絶	-
	イシガイ	<i>Unio douglasiae</i> Martens			準絶	-

分類群	和名	学名	国 RL	県RDB 2009	県RDB 2000	法指定等
その他の動物	キシノウエトタテグモ	<i>Latouchia swinhoi</i> (Kishida)	準絶	準絶	準絶	
	キノボリタテグモ	<i>Conothele fragaria</i> (Doenitz)	準絶	準絶	準絶	
	ワスレナグモ	<i>Calommata signata</i> Karsch	準絶	準絶		
	○テナガエビ	<i>Macrobrachium nipponense</i> (De haan)				
	○ミヅレヌマエビ	<i>Caridina leucosticta</i> Stimpson				

6. 情報不足

61種

分類群	和名	学名	国 RL	県RDB 2009	県RDB 2000	法指定等	
鳥類	○ジュウイチ	<i>Hierococcyx hyperythus</i> (Gould)					
	ハリオアマツバメ	<i>Hirundapus caudacutus</i> (Latham)		情報不足			
	○アマツバメ	<i>Apus pacificus</i> (Latham)					
	マダラウミスズメ	<i>Brachyramphus perdix</i> (Pallas)	情報不足	情報不足			
	キバシリ	<i>Certhia familiaris</i> Linnaeus		情報不足	II類		
淡水魚類	○ニホンウナギ	<i>Anguilla japonica</i> Temminck and Schlegel	IB類				
昆虫類	○コチビミズムシ	<i>Micronecta (Micronecta) guttata</i> Matsumura					
	○ヘラコチビミズムシ	<i>Micronecta (Micronecta) kiritshenkoi</i> Wróblewski					
	○トゲミズギワカメムシ	<i>Saldoia armata</i> Horváth					
	○シロヘリツチカメムシ	<i>Canthophorus niveimarginatus</i> Scott	準絶				
	○オンタケナガチビゴミムシ	<i>Trechiana lewisi</i> (Jeannel)					
	○コガタノゲンゴロウ	<i>Cybister tripunctatus lateralis</i> Fabricius	II類				
	クロアリツツカエンムシ	<i>Hetaerius optatus</i> Lewis		情報不足			
	◆オオクワガタ	<i>Dorcus hopei binodulosus</i> Waterhouse	II類	I類			
	セスジカクマグソコガネ	<i>Rhyparus azumai azumai</i> Nakane		情報不足			
	○ダイセツマルトゲムシ	<i>Byrrhus fasciatus fasciatus</i> (Forster)					
	○ヒメアオツヤハダコメツキ	<i>Mucromorphus miwai</i> Kishii					
	○ミヤマツメナシゾウムシ	<i>Anoplus japonicus</i> Morimoto					
	ハクサンハバチ	<i>Neocolochelyna hakusana</i> Togashi		情報不足			
	◆キアシクロハラボソコマユバチ	<i>Meteorus flavicoxa</i> Maeto		準絶			
	◆タカチホヒラタタマバチ	<i>Ibalia takachihoi</i> Yasumatsu		II類	II類		
	○フクイアナバチ	<i>Sphex inusitatus fukuianus</i> Tsuneki	準絶				
	○オオセイボウ	<i>Stilbum cyanurum</i> (Förster)	情報不足				
	○クロマルハナバチ	<i>Bombus (Bombus) ignitus</i> Smith	準絶				
	ハクサンホシシリアゲ	<i>Panorpa kagamontana</i> Miyamoto		情報不足			
	ギンイチモンジセセリ	<i>Leptalina unicolor</i> (Bremer et Grey)	準絶	情報不足			
	○ムモンアカシジミ	<i>Shirozua jonasi jonasi</i> (Janson)					
	ルリイロスカシクロバ	<i>Hedina consimilis</i> (Leech)		情報不足	準絶		
	○シロフタスジツトガ	<i>Agriphila aeneociliella</i> (Eversmann)					
	○クドウツトガ	<i>Pseudobissetia terrestrella kudo</i> Inoue					
	○チビウスキオオメイガ	<i>Scirpophaga micraurea</i> Sasaki					
	○コクシエグリシャチホコ	<i>Odontosia marumoi</i> Inoue					
	○キュウシュウマエアカシロヨトウ	<i>Leucapamea kyushuensis</i> (Sugi)					
	○クマゾオオヨトウ	<i>Kumasia kumaso</i> (Sugi)					
	○ヤンコウスキーキリガ	<i>Xanthocosmia jankowskii</i> (Oberthür)					
	浅海域の生物	◆シダモク	<i>Sargassum filicinum</i> Harvey		準絶	準絶	
	(海藻)	ウスパノコギリモク	<i>Sargassum serratifolium</i> (C. Agardh) C. Agardh		情報不足	情報不足	
	タマハハキモク	<i>Sargassum muticum</i> (Yendo) Fensholt		情報不足	情報不足		
浅海域の生物	チャイロキヌタガイ	<i>Palmadusta artuffeli</i> (Jousseaume)		情報不足	準絶		
(無脊椎動物)	タマカイメン	<i>Tethya japonica</i> Sollas		情報不足	情報不足		
	ハボウキガイ	<i>Pinna attenuata</i> Reeve		情報不足	情報不足		
	オトヒメゴカイ	<i>Hesione reticulata</i> Marenzeller		情報不足	情報不足		
貝類	○オオタニシ	<i>Cipangopaludina japonica</i> (Martens)	準絶		-		
	○ミズゴマツボ	<i>Stenothyra japonica</i> Kuroda	II類		-		
	ホソウミニナ	<i>Batillaria cumingii</i> (Crosse)		情報不足	-		
	○モノアラガイ	<i>Radix auricularia japonica</i> Jay	準絶		-		

分類群	和名	学名	国 RL	県RDB 2009	県RDB 2000	法指定等
	○ヒラマキミズマイマイ	<i>Gyraulus chinensis spirillus</i> (Gould)	情報不足		-	
	ヒラマキガイモドキ	<i>Polypylis hemisphaerula</i> (Benson)	準絶	情報不足	-	
	ナガナタネガイ	<i>Columella edentula</i> (Draparnaud)		情報不足	-	
	○ミジンナタネガイ	<i>Punctum atomus</i> Pilsbry & Hirase			-	
	○イボイボナメクジ属の一種	<i>Granulilimax</i> sp.			-	
	ミドリベッコウ	<i>Bekkochlamys kagaensis</i> (Pilsbry et Hirase)	情報不足	情報不足	-	
	ハクサンベッコウ	<i>Nipponochlamys hakusanus</i> (Pilsbry et Hirase)	情報不足	情報不足	-	
	ハクサンケマイマイ	<i>Aegista hakusanensis</i> M.Azuma et Y.Azuma		情報不足	-	
	オバエボシガイ	<i>Inversidens brandti</i> (Kobelt)	II 類	情報不足	-	
	ヤマトシジミ	<i>Corbicula japonica</i> Prime	準絶	情報不足	-	
	◆マシジミ	<i>Corbicula leana</i> Prime	II 類	準絶	-	
その他の動物	○カイエビ	<i>Caenestheriella gifuensis</i> (Ishikawa)				
	○チョウセンコツブムシ	<i>Gnorimosphaeroma naktongense</i> Kwon & Kim				
	○タキヨコエビ	<i>Sternomoera rhyaca</i> Kuribayashi, Mawatari & Ishimaru				
	○ヌカエビ	<i>Paratya compressa improvisa</i> Kemp				

7. 地域個体群 27 種

分類群	和名	学名	国 RL	県RDB 2009	県RDB 2000	法指定等
鳥類	七ツ島のオオミズナギドリ繁殖個体群	<i>Calonectris leucomelas</i> (Temminck)		地域個体群	地域個体群	
	七ツ島のウミウ繁殖個体群	<i>Phalacrocorax capillatus</i> (Temminck & Schlegel)		地域個体群	地域個体群	
	加賀海岸のミュビシギ越冬群	<i>Calidris alba</i> (Pallas)		地域個体群	地域個体群	
	■白山のイワヒバリ繁殖個体群	<i>Prunella collaris</i> (Scopoli)		I 類	I 類	
両生爬虫類	△宝達山系以北のヒダサンショウウオ	<i>Hynobius kimurae</i> Dunn	準絶	地域個体群		
淡水魚類	イワナ(無斑タイプ)	<i>Salvelinus leucomaenis</i> PALLAS	情報不足	地域個体群	地域個体群	白山市天
	○サケ(野生繁殖群)	<i>Oncorhynchus keta</i> (Walbaum)				
昆虫類	ヤマトオサムシ	<i>Carabus yamato</i> (Nakane)		地域個体群	地域個体群	
	コムラサキ(黒色型)	<i>Apatura metis substituta</i> Butler		地域個体群	準絶	
	アルプスヤガ	<i>Xestia (Pachnobia) speciosa ussurica</i> Kononenko		地域個体群	準絶	
浅海域の生物 (海藻)	フジノハズタ	<i>Caulerpa fergusonii</i> Murray		地域個体群	地域個体群	
	ウスイロモク	<i>Sargassum pallidum</i> (Turner) C. Agardh		地域個体群	地域個体群	
	ツクシアマノリ	<i>Porphyra yamadae</i> Yoshida		地域個体群	地域個体群	
浅海域の生物 (無脊椎動物)	アンズイソギンチャク	<i>Aulactinia coccinea</i> (Verrill) <i>sensu</i> Uchida and Soyama		地域個体群	準絶	
	グビジンイソギンチャク	<i>Stichodactyla tapetum</i> (Ehrenberg)		地域個体群	準絶	
	マシコヒゲムシ	<i>Oligobranchia mashikoi</i> Imajima		地域個体群	情報不足	
	シオガマサンゴ	<i>Oulangia stokesiana miltoni</i> Yabe et Eguchi		地域個体群	地域個体群	
	ツクモジユズサンゴ	<i>Culicia japonica tenuisepes</i> Ogawa, Takahashi and Sakai		地域個体群	地域個体群	
	アマガイ	<i>Nerita japonica</i> Dunker		地域個体群	地域個体群	
	ミサキギボシムシ	<i>Balanoglossus misakiensis</i> Kuwano		地域個体群	地域個体群	
	ワダツミギボシムシ	<i>Balanoglossus carnosus</i> (Willey)		地域個体群		
	○スゲガサチョウチン	<i>Discradisca sparselineata</i> (Dall)				
	○シモダギボシムシ	<i>Balanoglossus simodensis</i> Miyamoto and Saito				
	○ツクモミノウミウシ	<i>Cuthona beta</i> (Baba and Abe)				
	○アカテガニ	<i>Chiromantes haematocheir</i> (de Haan)				
	○クロベンケイガニ	<i>Chiromantes dehaani</i> (H. Milne Edwards)				
	○スナガニ	<i>Ocypode stimpsoni</i> Ortmann				

8. ランク外 43種(レッドデータブック2009からレッドデータブック2020でランク外に変更されたのは37種^{*5)})

分類群	和名	学名	国 RL	県RDB 2009	県RDB 2000	法指定等
鳥類	オオハクチョウ	<i>Cygnus cygnus</i> (Linnaeus)			準絶	
	↓ヨシガモ	<i>Anus falcata</i> Georgi		準絶	準絶	
	↓ホオジロガモ	<i>Bucephala clangula</i> (Linnaeus)		準絶	準絶	
	↓ウミアイサ	<i>Mergus serratar</i> Linnaeus		準絶	II 類	
	↓カワアイサ	<i>Mergus merganser</i> Linnaeus		準絶	準絶	
	↓カンムリカイツブリ ^{*6)}	<i>Podiceps cristatus</i> (Linnaeus)	地域個体群	準絶		

分類群	和名	学名	国 RL	県RDB 2009	県RDB 2000	法指定等
	↓ チュウサギ	<i>Egretta intermedia</i> (Wagler)		準絶	準絶	
	コチドリ	<i>Charadrius dubius</i> Scopoli			II 類	
	↓ ウミズメ	<i>Synthliboraphus antiquus</i> (Gmelin)	IA 類	準絶	準絶	
	↓ サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i> (Raffles)	II 類	準絶	準絶	
	↓ サンコウチョウ	<i>Terpsiphone atrocaudata</i> (Eyton)		準絶	準絶	
淡水魚類	カワヨシノボリ	<i>Rhinogobius flumineus</i> (Mizuno)			地域個体群	
昆虫類	コシボソヤンマ	<i>Boyeria maclachlani</i> (Selys)			準絶	
	↓ ハネナシアメンボ	<i>Gerris (Gerris) nepalensis</i> Distant		準絶		
	マルミズムシ	<i>Paraplea japonica</i> Horvath			準絶	
	◇ ハマベツチカメムシ	<i>Byrsinus varians</i> (Fabricius)		情報不足		
	↓ コクロナガオサムシ	<i>Carabus (Leptocarabus) arboreus hakusanus</i> Nakane		準絶	準絶	
	↓ 白山亜種					
	↓ コミズスマシ	<i>Gyrinus (Gyrinus) curtus</i> Motschulsky	IB 類	II 類		
	↓ ナガヒラタムシ	<i>Tenomerga mucida</i> (Chevrolat)		準絶	準絶	
	↓ ツヤハマベエンマムシ	<i>Eopachylopus ripae</i> (Lewis)		準絶		
	◇ チビクワガタ	<i>Figulus binodulus</i> Waterhouse		情報不足		
	□ ヘグラシモフリコメツキ	<i>Actenicerus (Acnitercerus) suzukii hegurensis</i> (Kishii)		地域個体群		
	□ ヘグラカバイロコメツキ	<i>Agriotes (Agriotes) subvittatus hegurensis</i> Kishii		地域個体群		
	↓ ババジョウカイ	<i>Lycocerus babai</i> (Ishida)		準絶	準絶	
	↓ カラマツカミキリ	<i>Tetropium morishimaorum</i> Kusama et Takakuwa		II 類		
	↓ トラフカミキリ	<i>Xylotrechus (Xyloclytus) chinensis kurosawai</i> Fujita		準絶		
	◇ コマユバチの一種	<i>Yelicones nipponicus</i> Togashi		情報不足	準絶	
	◇ タケウチケブカミバエ	<i>Paratephritis takeuchii</i> Ito		情報不足		
	◇ キイロミヤマイエバエ	<i>Thricops diaphanus</i> (Wiedemann)		情報不足		
	◇ キバネクロバエ	<i>Mesembrina resplendens cillimaculata</i> Fan & Zhang		情報不足		
	↓ オオシモフリズメ	<i>Langia zeneroides nawai</i> Rothschild & Jordan		準絶	準絶	
	クロチャマダラキリガ	<i>Rhynchaglaea fuscipennis</i> Sugi			準絶	
浅海域の生物 (海藻)	◇ ススカケベニ	<i>Halarachnion latissimum</i> Okamura		情報不足	情報不足	
浅海域の生物 (無脊椎動物)	◇ ウミサボテン	<i>Cavernularia obesa</i> Milne-Edwards et Haime		情報不足	準絶	
	◇ ホソウミエラ	<i>Scytalium martensii</i> Kolliker		情報不足	準絶	
	◇ フトウミエラ	<i>Leioptilus fimbriatus</i> (Herklots)		情報不足	準絶	
	◇ コシダカウニ	<i>Mespilia globulus</i> (Linnaeus)		情報不足	情報不足	
	◇ カタユウレイボヤ	<i>Ciona intestinalis</i> (Linnaeus)		情報不足	情報不足	
	◇ ヒガシナメクジウオ*7	<i>Branchiostoma japonicum</i> (Willey)		情報不足	情報不足	
	□ メダカラ	<i>Purpuradusta (Cupinota) gracillis</i> (Gaskoin)		地域個体群	準絶	
	□ マクラガイ	<i>Oliva mustelina</i> Lamarek		地域個体群	準絶	
浅海域の生物 (魚類)	◇ アカハゼ	<i>Amblychaeturichthys hexanema</i> (Bleeker)	準絶	情報不足	情報不足	
	□ イチモンジハゼ	<i>Tremma garmmistes</i> (Tomiyama)		地域個体群	地域個体群	

*1 和名を「ハッタジュズイミズ」から「ハッタミズ」に変更。

*2 いしかわレッドデータブック2009では「オオミケマイマイ」としていたが、環境省レッドリスト2019にあわせ変更。

*3 いしかわレッドデータブック2009では「ヒラベッコウガイ」としていたが、環境省レッドリスト2019にあわせ変更。

*4 「ヘグラマイマイ」をいしかわレッドデータブック2000では「その他動物」、いしかわレッドデータブック2009では「陸産貝類」に分類。

*5 8. ランク外で、和名の前に記号が記載されている種が、いしかわレッドデータブック2009からの改定でランク外とされた種。

*6 「カムリカイツブリ」は、国RL2019では青森県のカムリカイツブリ繁殖個体群が地域個体群に指定されている。

*7 いしかわレッドデータブック2000、2009では「ナメクジウオ *Branchiostoma belcheri* Gray」としたが、近年の研究により、日本沿岸産のものは *B. japonicum* (Willey)を適応すべきことが明らかとなり、新称和名「ヒガシナメクジウオ」が提唱された。

